

令和 3 年 6 月 14 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2020

課題番号：16K02588

研究課題名（和文）日本現存の旧鈔本を中心とする文選資料群に関する総合的研究

研究課題名（英文）A Comprehensive Study of WENXUAN Based on Existing Japanese Manuscripts

研究代表者

陳 羽中（Chen, Chong）

広島大学・人間社会科学研究科（文）・准教授

研究者番号：50457412

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、東アジア文化圏の成立経緯を究明する際、最も重視すべき「東アジア文選学史の成立及び日中独自文選学の形成」を研究課題とし、まず、日本に現存する旧鈔本・和刻本などの文選資料群を整理して基礎研究資料とし、昭明太子編三十巻本『文選』の復元を図った。また、平安時代から江戸時代までの典籍、文集及び仏教文献に見られる『文選』に関する古記録を整理し、隋唐文選旧注の東漸及び日本中世独自の文選学の形成に対する総合的な研究を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、従来復元困難に見られる昭明太子編三十巻本『文選』を、日本に現存する九条本をはじめとする旧鈔本資料群にフォーカスし、多層かつ具体的に分析を加えることで、失われた古籍の原型とその本文が復元可能になるという新しい研究領域を切り拓こうと試みた。また、研究期間において、積極的に国内外の学会や論文での発表を行い、また、現在までの東アジア文選学史研究の一部研究成果をまとめて刊行することで、成果を広く社会に還元した。

研究成果の概要（英文）：On the basis of the origin of the formation of East Asian cultural circle, it is believed that the formation of East Asian Literary History and the independent formation of Japanese and Chinese literature selection should be taken into account seriously, which is also the main topic of this research. Firstly, sorted out the existing Japanese manuscript, the original edition and other materials, and based on these fundamental research data, the paper is expected to recover the thirty volumes of zhaomingwenxuan compiled by the crown prince zhaomingwenxuan. Secondly, sorted out the Japanese ancient books and records, collections between Heian period and Edo period, as well as the recording of selected works, which were seen in the Buddhist documents. and then the paper is going to carry out a comprehensive study on the old notes of the literary selections in Sui and Tang Dynasties and the formation of independent literary selection in the middle ages of Japan.

研究分野：中国文学・文献学

キーワード：文選 昭明太子蕭統 集注文選 李善注文選 五臣注文選 旧鈔本 和刻本 白氏文集

## 1. 研究開始当初の背景

平安の才女清少納言の『枕草子』に、「文は文集、文選新賦、史記五帝本紀、願文、表、博士の申文」(第211段 池田亀鑑校訂岩波文庫本)と記されているように、中国南朝梁の太子である蕭統(501—531、昭明太子)が編纂した『文選』は、長らく東アジア諸国の知識人層の最も根本的な典籍として尊重されてきた。聖徳太子の「十七条憲法」の出典でもある『文選』は、東アジア諸国の文学のみならず、時代と社会を超え、国家の政治制度の運営から、知識人の美意識にまで深く浸透した重要な書物であることが明らかである。また、近年、申洪哲氏「文選の韓国伝来及びその流行について」(『中国語文学』第8輯 [文選特輯号]、1984年)、呉曉峰・陳復興氏ら『文選銭氏学研究』(吉林大学出版社、2004年)、小尾郊一氏『沈思と翰藻『文選』の研究』(研文出版、2001年)などの日中韓の学者たちの研究によって、『文選』は、広く東アジア全域の文化交流史の上で、根源的な影響を与えた存在であったことが改めて浮き彫りになってきたのである。

しかし、現在の文選学研究は、すでに低調期に入ったのも事実である。その原因については、早くは清水凱夫氏が、『新文選学「文選」の新研究』(研文出版、1999年)に言及されているように、従来の「文選学」は、あくまで「個々の収録作品の注釈・訓詁に重点を置き過ぎた」学問であったため、視野の狭隘化を免れ得なかったのである。これからの研究の重心は、『文選』という書物自体の本質の究明及びその伝承史に関する俯瞰的な研究に移らねばならないのである。また、こうした問題意識が中国においても共通であること、2010年5月、中国文選学会の会長である許逸民氏は、「『新文選学』界説」という論文(『鄭州大学学报哲学社会科学版』2010年第3期)を発表し、学会の総力を上げて衆知を集め、「新文選学」の構築が喫緊の課題であることを、改めて国内外の学者に強く訴えている通りである。また、中国の国家教育委員会は、「文選会校会注」研究を今後の国家社会科学重大項目として設定し、研究チームの公募を行って国家規模で中国における文選研究の推進に乗り出したところである。

そもそも、「新文選学」という研究理念は、神田喜一郎氏が「新たな文選学」(『世界文学大系月報』1963年12月)という論文に提出されたものである。神田氏は、蕭統が編纂した三十巻本『文選』の復元こそ、『文選』の実像究明の唯一の方法であり、これからの「文選学」の新たな出発点であると強く主張したのである。つまり、従来の研究に使用されている『文選』テキストは、あくまで宋代の知識人によって再編集された書物であり、蕭統が編纂した三十巻本『文選』の原形から既に離れてしまっているのである。三十巻本『文選』の原形を明らかにできないことが、久しく東アジア文選学史の変遷に関する研究の前進を阻んでいる。

一方、唐代以前の『文選』テキストの旧貌を彷彿させる博士家の旧鈔本及び慶長時期の和刻本が多数存在する。申請者がこれらの資料を利用し、ここまで三十巻『文選』の一部の復元を成功させた。これによって、日中における文選学史の変貌に関する研究がようやく可能になる。しかも、『文選』は、中国の六世紀以前の文学作品を収録した唯一の総集であり、その原形を復元できることによって、「文選学」という一研究分野の大きな発展を促すのみならず、六世紀以前の大陸文明は、文化黎明期にある周辺の小国々々に対して、如何なる影響を及ぼしたのか、という東アジア文化圏の成立経緯の究明そのものにも、大きな前進をもたらすと見なすべきである。また、唐代以前に成立した書物は『文選』に限らず、宋代以後の原貌を留めないテキストに拠って研究されるという問題を等しく有する。日本に現存する古文献(旧鈔本・和刻本)による東アジア各

国における文選学の変遷に関する実証的研究は、東アジア文化圏における文学思想の変遷及びテキストの伝承という視点からも重要な課題なのである。

## 2. 研究の目的

本研究は、東アジア文化圏の成立経緯を究明する際、最も重視すべき「東アジア文選学史の成立及び日中独自文選学の形成」を研究課題とし、日本に現存する旧鈔本・和刻本などの文選資料群を研究資料とし、日中を中心とする東アジア諸国における文選学の変貌及び受容史に対する総合的な研究を行うことを目的とする。具体的に、以下の項目に取り組むこととした。

〔1〕日本に現存する『文選』テキストの整理及び三十巻本『文選』本文に関する文字校勘による昭明太子編三十巻本『文選』の復元

〔2〕文選周辺の漢籍資料に関する文献的研究による古代日本文選受容史の実態の解明

## 3. 研究の方法

上述の目的に従い、以下の手順で研究を進めることとした。

(1) 周知のように、九条本『文選』の原本は、東山御文庫に秘蔵されており、現在は公開されていない。しかし、昭和37年にその写真版の『九条本文選抄』八冊本がいくつか制作され、申請者が在籍している広島大学にも一部所蔵されている。すでに斯波六郎氏によって、この本は「無注本三十巻を伝写し来れるものであろう」（『九条本文選解説』1959年）と推測され、現存する『文選』諸本のうち、蕭統編纂三十巻本『文選』に最も近い存在であることが明らかにされた。本研究は、まず九条本の翻字及び書き入れ注の整理を進めていく。さらに、日本に現存する以下の旧鈔本・和刻本『文選』資料群に対し総括的な研究を行い、各本における文字異同を調べてその系譜を明らかにし、三十巻無注本の定本の完成を試みる。◇旧鈔本資料群①猿投神社蔵弘安五年鈔本、正安鈔本②京都博物館蔵上野精一旧蔵巻一鈔本、「弁命論」鈔本残巻③宮内庁書陵部蔵『管見記』（西園寺家旧蔵）紙背「文選」巻二及び「出師表」残巻（九条本文選巻十九の僚巻）④大東急記念文庫蔵鎌倉時代鈔本巻三⑤天理図書館蔵元徳二年鈔本⑥冷泉家蔵菅原時登鈔本巻二⑦静嘉堂文庫蔵文選巻十⑧各機関及び個人に分蔵される旧鈔本『集注文選』◇和刻本資料群①慶長活字本直江版文選②寛永本活字本文選③寛文本六臣注文選④承應三年刊本文選刪注⑤宇都宮遯庵注貞享四年刊本文選音註⑥丹墀元校近世木活字本文選⑦秦鼎點文政元年李善注文選⑧岡本壽茂等校嘉永五年刊文選正文音訓⑨近藤元粹音釋明治一五年刊文選正文

(2) 日本中世の漢籍目録・仏典・古記録・古文書・書跡などの古文献にみえる『文選』に関わる資料を広く収集して整理し、古代日本における文選受容の実態及び傾向を明らかにする。

## 4. 研究成果

本研究は、まず、現存する九条本各巻の翻字及び書き入れ注の整理を進めてきた。さらに、上記の旧鈔本・和刻本『文選』資料群に対し総括的な研究を行い、三十巻無注本の復元を試みた。しかし、上記の和刻本を精査して一点ずつ調査を行うに当たって、想定以上の時間がかかったため、三十巻無注本の最終定本の完成には至らなかった。今後は、現在蒐集した和刻本を一資料群と見なし、旧鈔本資料群との文字校勘を引き続き行い、三十巻無注本定本の完成及び公刊を目指す一方、日本文選学史における近世文選学の展開という学術研究の空白も埋めていきたい。なお、

本研究に関する一部の研究成果は、すでに国内外の複数の学術誌に公刊した。

次に、日本中世の漢籍目録・仏典・古記録・古文書・書跡などの古文献にみえる『文選』に関する資料を広く収集して整理した。「奈良平安時期日本『文選』鈔讀史料彙編稿」（『國學研究』第四十四巻、北京大學國學研究院中國傳統文化研究中心編）及び「江戸時代重要『文選』書目解題譯注彙考稿」（『國際漢學研究通訊』第十九・二十期、北京大學國際漢學家研修基地編）では、日本の中世及び近世の古記録、古書目に記された『文選』の関連資料や、『文選』の旧鈔本・宋明刊本・和刻本などに関する蔵書記録及び解題を整理して考察を加え、古代日本における『文選』受容の一端を明らかにした。また、より詳しく、より広く古代東アジアにおける『文選』受容の実態を検証するため、大正新修大蔵經を中心とする日中の仏教文献に見られる『文選』関連資料の蒐集作業も進めてきた。その研究成果の一部として、「中日佛教文献所見『文選』引文彙考稿（上）」（『広島大学大学院文学研究科論集』第七十九巻）を公刊した。他にも日本における文選研究の成果を纏め、「日本文選学論著索引」という資料集を作成し、海外の学術誌に掲載されると同時に、『文学遺産』の電子ジャラル（網略版）にも公開した。これらの彙考稿及び索引は、中国文学の研究者に限らず、日本文学や日本史の研究者にも大いに役立つことが予想される。

なお、以上の研究成果を含むものとして、『日宋漢籍交流史の諸相—文選と史記、そして白氏文集』（新・日中文化交流史叢書、大樟樹出版社合同会社、289頁、2019年）を公刊した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計28件（うち査読付論文 14件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 20
2. 論文標題 室生寺本《日本國見在書目録》鈔注體例及書名新證	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 域外漢籍研究集刊	6. 最初と最後の頁 79～94
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 1
2. 論文標題 先向歌詩求諷刺：白居易「新樂府」之原形態考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東亜古典文学與漢籍高端學術研討會論文集	6. 最初と最後の頁 27～44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 44
2. 論文標題 日本奈良平安時期『文選』鈔讀史料彙編稿	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 國學研究	6. 最初と最後の頁 79～92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 25
2. 論文標題 日本杜甫研究論文索引稿(1924-2019)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 澳門文獻信息學刊（「文学遺産」電子版による転載）	6. 最初と最後の頁 87～128
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 38
2. 論文標題 日本儒林叢書所見『文選』資料彙考稿	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中國學研究論集	6. 最初と最後の頁 57～67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 19・20
2. 論文標題 江戸時期重要『文選』書目解題彙編稿	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際漢学研究通訊	6. 最初と最後の頁 152～172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 4
2. 論文標題 日本文選學論著索引(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 古代文学前沿與評論(「文学遺産」電子版による転載)	6. 最初と最後の頁 315～362
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 79
2. 論文標題 日本佛教文獻所見『文選』引文彙考稿(上)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 広島大学大学院文学研究科論集	6. 最初と最後の頁 37～49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 14
2. 論文標題 慧萇鈔南禅院本白氏文集卷十五復原稿	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 表現技術研究	6. 最初と最後の頁 55～76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 3
2. 論文標題 日本文選學論著索引 (中)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 古代文学前沿與評論 (「文学遺産」電子版による転載)	6. 最初と最後の頁 243～282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 37
2. 論文標題 九条本『文選』卷十六 (下) 本文の翻刻と書入注の整理	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国学研究論集	6. 最初と最後の頁 30～40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 79
2. 論文標題 日本佛教文獻所見『文選』引文彙考稿 (上)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 広島大学大学院文学研究科論集	6. 最初と最後の頁 37～49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 卷 36
2. 論文標題 九条本『文選』卷十六(中) 本文の翻刻と書入注の整理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国学研究論集	6. 最初と最後の頁 25～31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 卷 下
2. 論文標題 試論鈔刊轉換時期及作品首數誤録之問題 以白氏文集卷十五、卷六十二等爲例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中國唐代文學學會第十九屆年會暨唐代文學國際學術研究會論文集	6. 最初と最後の頁 267～282
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 卷 78
2. 論文標題 李白「静夜思」本文変遷史新考 『文選』所収の魏文帝「雜詩二首」との関連性をめぐって	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 広島大学大学院文学研究科論集	6. 最初と最後の頁 59～70
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 静永健著、陳羽中訳	4. 卷 下
2. 論文標題 讀『文選集注』札記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国「文選」学研究会第十三届年會暨「百年選学：回顧與展望」國際學術研討會論文集	6. 最初と最後の頁 547～552
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 富永一登著、陳羽中訳	4. 巻 二
2. 論文標題 日本『文選』研究之現状與展望	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 古代文学前沿與評論	6. 最初と最後の頁 14～18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 二
2. 論文標題 日本文選學論著索引(上)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 古代文学前沿與評論(「文学遺産」電子版による転載)	6. 最初と最後の頁 263～305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 34
2. 論文標題 九条本『文選』卷二十二 本文の翻刻と書入注の整理	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中国学研究論集	6. 最初と最後の頁 37～47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 29
2. 論文標題 正倉院古文書所見漢籍書録及唐逸詩彙考	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中国文学研究	6. 最初と最後の頁 166～172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 70
2. 論文標題 宋人所見『夷堅志』引文考 前四志を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中国中世文學研究	6. 最初と最後の頁 82～96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 46
2. 論文標題 九条本『文選』卷十六(上) 本文の翻刻と書入注の整理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内海文化研究紀要	6. 最初と最後の頁 1～38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 静永健著、陳羽中訳	4. 巻 115
2. 論文標題 站在禹域的角度來看日本古漢籍の特徴	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文学研究	6. 最初と最後の頁 44～55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 34
2. 論文標題 『集注文選』翻字校點稿 卷七・卷八(上)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 中国学研究論集	6. 最初と最後の頁 67～82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 68
2. 論文標題 『管見抄白氏文集』の発見経緯とその奥書に関する考釈 宗尊親王と石清水宮田中坊との関わり	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 中国中世文学研究	6. 最初と最後の頁 11～27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 17
2. 論文標題 尊円親王筆白氏詩巻の文献価値について その書写底本をめぐる諸問題及び逸詩「看碁贈人」に関する考釈	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 白居易研究年報	6. 最初と最後の頁 182～203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳羽中	4. 巻 1
2. 論文標題 正倉院古文書所見漢籍書録及唐逸詩彙考	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 復旦大學中国古代文学研究中心二〇一六年中日蔵漢籍研討會論文集	6. 最初と最後の頁 127～147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 静永健著、陳羽中訳	4. 巻 1
2. 論文標題 王梵志詩集在日本 兼論山下憶良與杜甫的關係)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 復旦大學中国古代文学研究中心二〇一六年中日蔵漢籍研討會論文集	6. 最初と最後の頁 17～27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 5件）

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 試論鈔刊轉換時期及作品首數誤録之問題 以白氏文集卷十五、卷六十二等爲例
3. 学会等名 中國唐代文學學會第十九屆年會暨唐代文學國際學術研究會（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 李白・杜甫の詩歌創作における『文選』の受容 「静夜思」と「春望」を例として
3. 学会等名 日本中国学会第七十回次世代シンポジウム「いま『文選』を読む 中国古典文学の規範とその距離」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 日藏古鈔本漢籍文献学之構築與偽本舉例
3. 学会等名 第303回中國文藝座談會「中日周秦漢唐文學學術的再出發」國際學術研討會暨第八屆周秦漢唐讀書會（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 広島大学所蔵の和刻本文選をめぐって
3. 学会等名 平成29年度中古文献研究小型學術研討例会（中国中世文学会2017年度特別例会）（國際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 李白「静夜思」本文変遷史新考 『文選』所収の魏文帝「雜詩二首」との関連性をめぐって
3. 学会等名 第三回文プロ研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 正倉院古文書所見漢籍書録及唐逸詩彙考
3. 学会等名 復旦大學中国古代文学研究中心二〇一六年中日日藏漢籍研討會（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 先向歌詩求諷刺：白居易「新樂府」之原形態考
3. 学会等名 東亜古典文學與漢籍高端學術研討會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳羽中
2. 発表標題 李善注文選の原型と唐代「夾注書」の成立 鈔本時代における注釈書の書写体裁を視座として
3. 学会等名 第七回文プロ研究会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 陳羽中	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大樟樹出版社合同会社 / 浙江出版集團東京株式会社	5. 総ページ数 304
3. 書名 日宋漢籍交流史の諸相 文選と史記、そして白氏文集（新・日中文化交流史叢書）	

1. 著者名 査屏球編（芳村弘道・静永健・傅剛・陳尚君・大淵貴之・陳才智・卞東波・金程宇・甲斐雄一・胡可先・胡凌燕・杜曉勤・陳羽中・高兵兵・査屏球・汪超・奥野新太郎・盧盛江・顏永新・潘銘基・王勇・黃仁生・長谷部剛・朱子昊・黃冬柏・高倩藝）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 上海古籍出版社	5. 総ページ数 280頁（171～198）
3. 書名 梯航集 日藏漢籍中日學術對話録	

1. 著者名 東英寿編著（東英寿・川合康三・王永・陳羽中・渡部雄之・杜梅・紺野達也・朱剛・加納留美子・原田愛・林岩）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花書院	5. 総ページ数 253頁（49～64）
3. 書名 唐宋八大家の世界	

1. 著者名 陳羽中	4. 発行年 2017年
2. 出版社 （台湾）聯經出版事業股份有限公司	5. 総ページ数 370
3. 書名 『紅樓夢』新解（現代名著訳叢・原作者：合山究）	

1. 著者名 陳羽中主編（陳羽中・後藤昭雄・查屏球・渡部雄之・小林宏光・衣若芬・森岡ゆかり・泉紀子・池澤一郎・文艶蓉・錢心怡・張硯君・澤崎久和・下定雅弘・中木愛）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 318（2～7・182～203）
3. 書名 白居易研究年報 特輯 書蹟と繪畫（第17号）	

1. 著者名 福島金治主編（井原今朝男・久保木秀夫・白井純・菅原正子・鈴木秀之・住吉朋彦・高田宗平・高津孝・高橋 悠介・武井和人・館野文昭・陳羽中・永井晋・西弥生・西岡芳文・福島金治・松本大・蓑輪顕量・渡辺滋・渡辺麻里子）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 竹林舎	5. 総ページ数 567頁（182～204）
3. 書名 生活と文化の歴史学9 学芸と文芸	

1. 著者名 查屏球編（吳夏平・吳淑玲・羅寧・孟國棟・曹麗芳・咸暎亭・陳羽中・劉明・朱玉麒・甲斐雄一・查屏球・任雅芳・文艶蓉・陳尚君・尹楚兵）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 上海古籍出版社	5. 総ページ数 384（153～173・257～281）
3. 書名 抄本、印本與小集、大集：抄印轉換與文學演變工作坊論集	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 平成29年度中古文獻研究小型學術研討會（中國中世文學會2017年特別例會）	開催年 2017年～2017年
---	--------------------

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------